

5. 調査結果

5-1. ガイド等団体の基礎情報

大台ヶ原においてガイド等を実施する団体の基本的な情報を以下に整理する。

表 2：ガイド等団体の基礎情報

団体名	A	B	C	D	E
設立年	平成 20 年	平成 18 年	平成 12 年	平成 14 年	平成 13 年
組織形態	任意団体	任意団体	任意団体	特例民法法人	NPO 法人
活動目的	・大台ヶ原、大峰山脈のトレッキングガイド	・山岳・観光ガイド ・山道、歩道などの整備等	・顧客の要望する登山コースを快適安全に案内する	・都市の人々と水源地を結ぶ活動組織として川上村内にとどまらない地域と人々の公共利益に寄与する	・自然体験型環境教育
活動内容	ガイド	○	○	○	○
	主催プログラムの実施	—	—	—	○
	指導者養成事業	—	—	○	—
	施設運営	—	—	—	○
	講師派遣	—	—	○	○
コンサルティング	—	—	○	—	—
ガイド活動のウエート	ガイドに特化(80%以上)	ガイドに特化(80%以上)	ガイドに特化(80%以上)	ガイドも実施(20~80%)	ガイドも実施(20~80%)
ガイドの人数	8 人	9 人	10 人	5 人	3 人
ガイドの活動期間	4~11月	通年	通年	通年	通年
主なフィールド	・大台ヶ原 ・大峰山系	・大台ヶ原 ・大峰山系	・大峰 ・大台ヶ原	・「水源地の森」 ・川上村内各所 ・吉野川(紀ノ川)流域各市町村	・台高山系 ・大台町 ・熊野古道

5-2. ガイドメンバーの概要

(1) 性別・年齢層

ガイドを実施するメンバーについて、性別をみると男性が 80.0%、女性が 20.0%であった。

また、年齢層は 40 代が最も多く、計 16 名(45.7%)であった(表 3 及び図 1 参照)。

表 3：ガイドメンバーの性別・年齢層

	男性	女性	合計	比率
20 代	1	2	3	8.6
30 代	3	2	5	14.3
40 代	14	2	16	45.7
50 代	7	0	7	20.0
60 代	2	1	3	8.6
70 代以上	1	0	1	2.9
合計	28	7	35	100.0
比率	80.0	20.0	100.0	

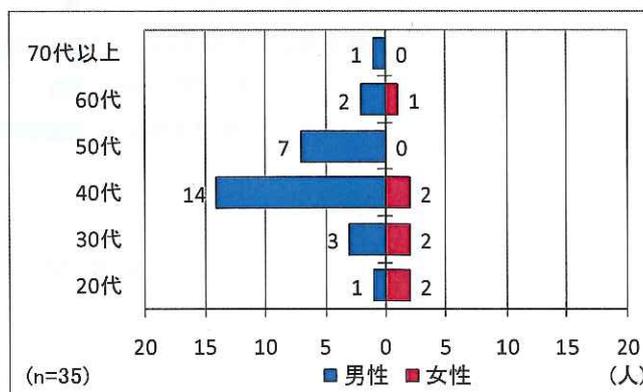


図 1：ガイドメンバーの性別・年齢層

(2) 主な収入源

ガイドメンバーの主な収入源をみると、会社員が 10 人(28.6%)、施設等の職員が 7 人(20.0%)と過半数を占めた。また、ガイド専業は 2 人(5.7%)であった。

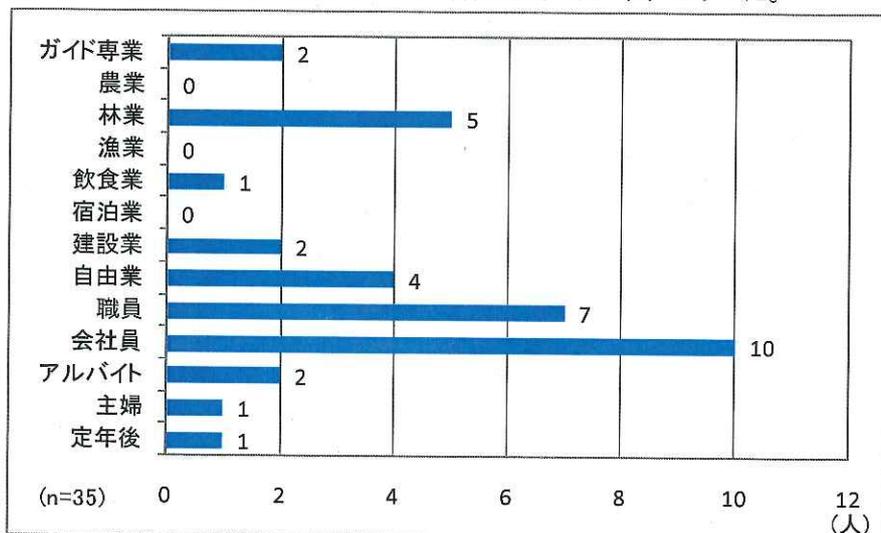


図 2：ガイドメンバーの主な収入源

(3) 資格保有状況

資格の保有状況をみると、保有資格なしが 23 人(65.7%)でおよそ 3分の 2 を占めた。保有している資格のうち最も多かったのは、(財)日本体育協会上級指導員(山岳)で 6 人(17.1%)であった。

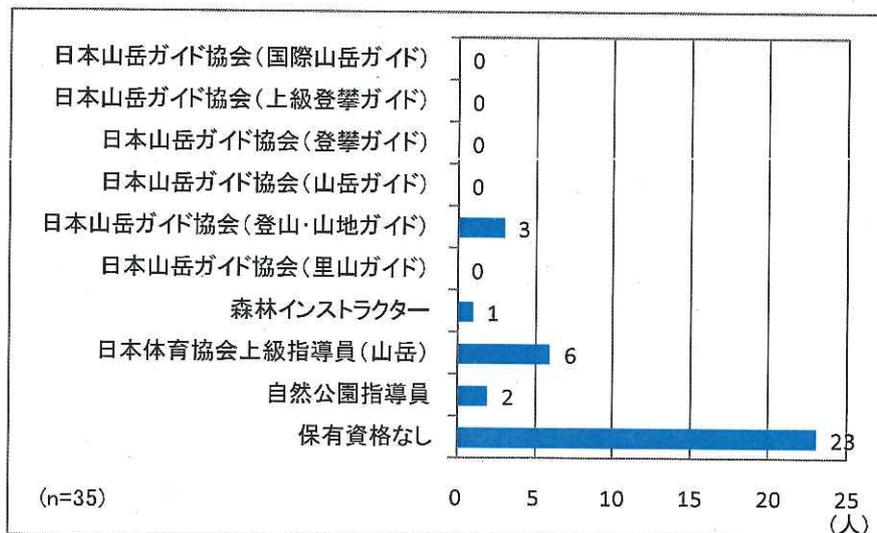


図 3：資格の保有状況

(4) 講習等受講状況

講習等の受講状況をみると、日本赤十字社の救急法基礎講習の受講者が24人(68.6%)、消防本部の普通救命講習の受講者が9人(25.7%)と、救急に関する講習を受講したことがある人が多かった。なお、講習等受講歴がない人も6人(17.1%)いた。

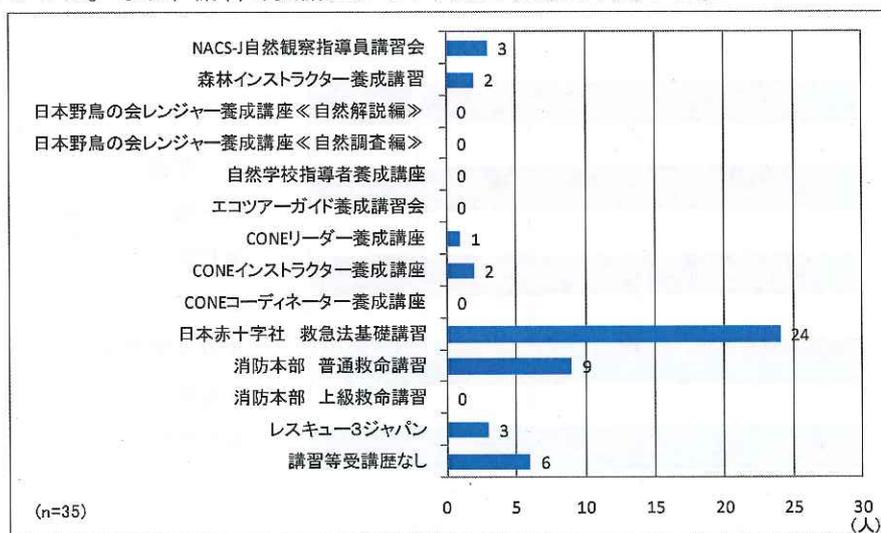


図 4：講習等の受講状況

5-3. ガイドの実施状況

(1) コース、所要時間、料金

各団体が設定している主なコース、所要時間、料金は以下の通り。

表 4：主なコース、所要時間、料金

コース		所要時間	料金
大台ヶ原	東大台	日帰り	16,000～17000円
	西大台	日帰り	18,000円
	東大台・西大台小処コース	1泊2日	28,000円
	東大台・大杉谷国有林コース	1泊2日	24,000円
	東大台・コブシ嶺コース	1泊2日	27,000円
大峰山系		日帰り	20,000～25,000円
		1泊2日	50,000円
その他	高見山	日帰り	20,000円+交通費
	南アルプス聖岳	3泊4日	25,000円+交通費
	水源地の森ツアー	日帰り	4,000円
	森と水のワークショップ	1泊2日	25,000円
	もりみず探検隊 (川上村内各所)	日帰り	3,500円
	吉野川紀の川しらべ隊 (川上村内と流域市町村)	日帰り	1,000円

(2) 利用主体の内訳

利用主体の内訳をみると、ガイド活動に特化している(ウェイト:80%以上)団体は一般ツアー団体の利用主体が大部分を占め、ガイド活動も実施している(ウェイト:20~80%)団体は、一般個人の利用主体が多くいた(図5参照)。

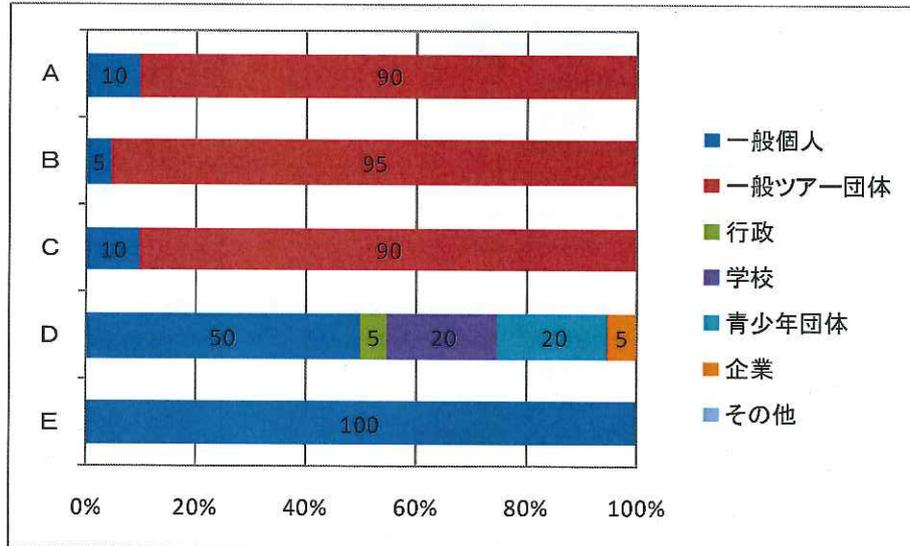


図5: 利用主体の内訳

(3) 利用者の年齢層

利用者の年齢層は、全般的に50代以上の比率が高い傾向にあった(図6参照)。

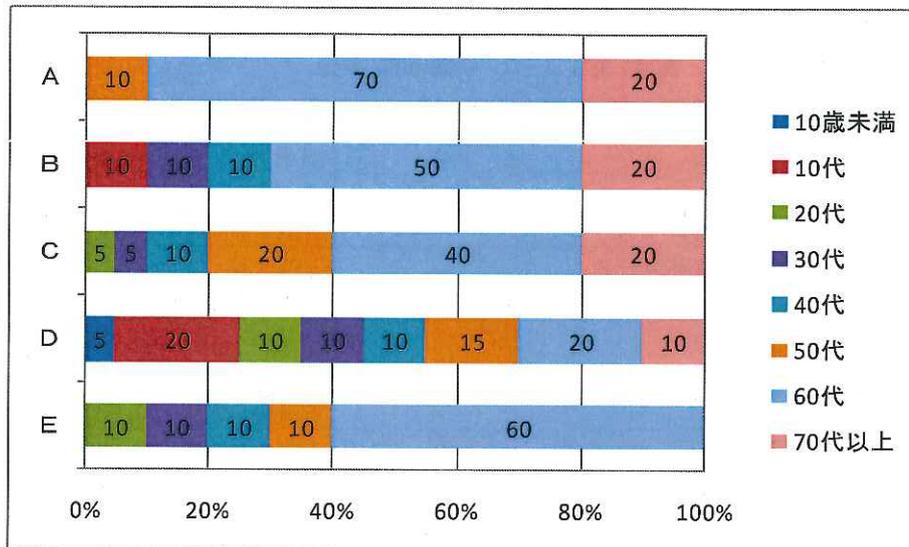


図6: 利用者の年齢層

5-4. 大台ヶ原におけるガイドの実施状況

(1) ガイドのレベル・内容

大台ヶ原で実際にガイドを行った団体（計4団体）について、実施したガイドのレベルをみると、回答したすべての団体が初心者向けのガイドを実施していた。なお、中・上級者向けのガイド、山岳ガイドと、難易度が上がるにつれて実施する団体も少なくなる傾向にあった。

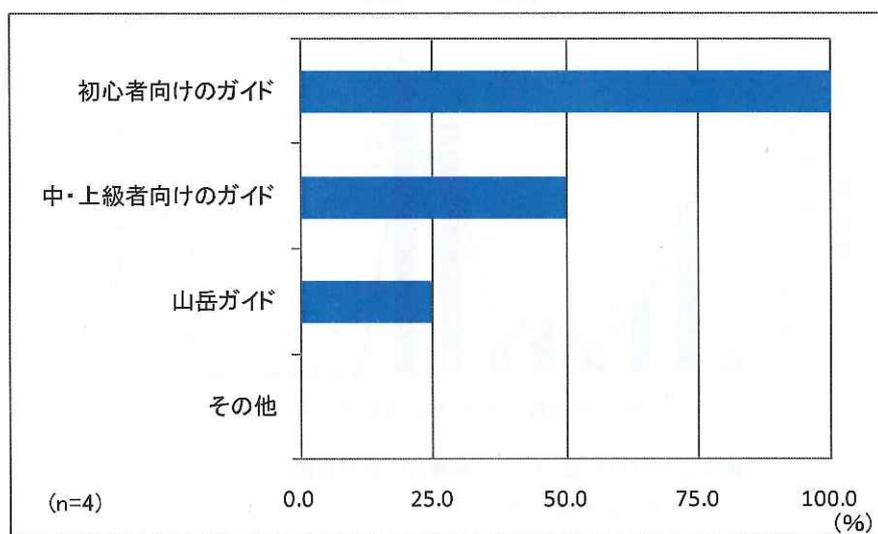


図 7：実施しているガイドのレベル

また、実施したガイドの内容をみると、「動植物等の生物の名前や生態」や、「コースや所要時間」、「見所の紹介」はすべての団体に実施していた。その他も概ね基本的に網羅されていたが、「地図の読み方」等は行った団体は少なかった。

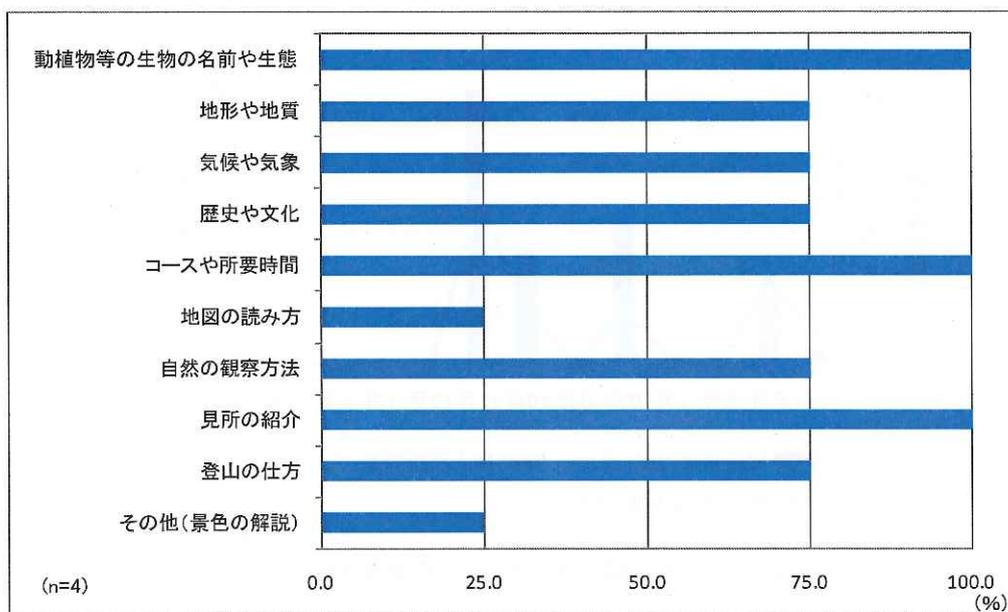


図 8：実施しているガイドの内容

(2) 平成 20 年度の大台ヶ原におけるガイド実施状況

① 東大台地区におけるガイド実施状況

東大台地区においては、多くの場合が団体利用であった。利用者数は特に、5月、10月、11月の多く、大台ヶ原への来訪者数の増減とほぼ一致する。

対応したガイドの人数は最大 28 人日（11 月）であったが、平成 20 年度、大台ヶ原でガイドを実施した 4 団体（30 人）のうち、計算上、出動していないガイドもいたといえる。

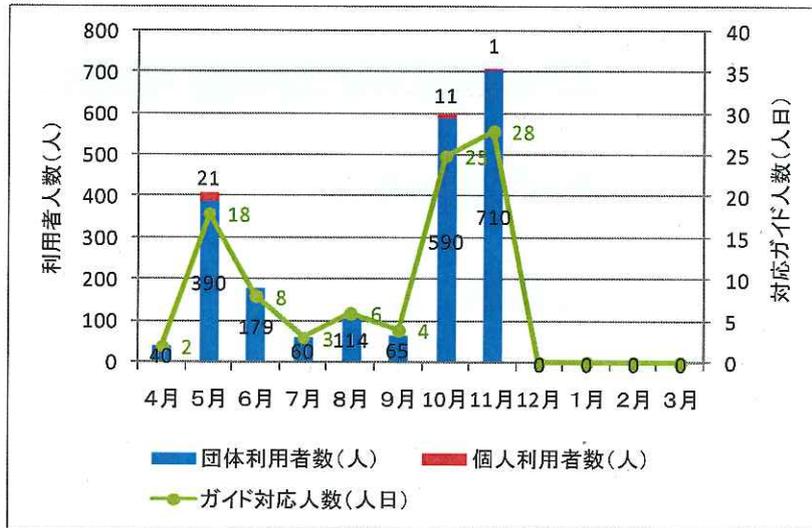


図 9：東大台地区におけるガイドの実施状況

② 西大台地区におけるガイドの実施状況

西大台地区におけるガイドの実施状況は、西大台利用調整地区の影響もあつてか、現況ではそれほど活発には行われていない。

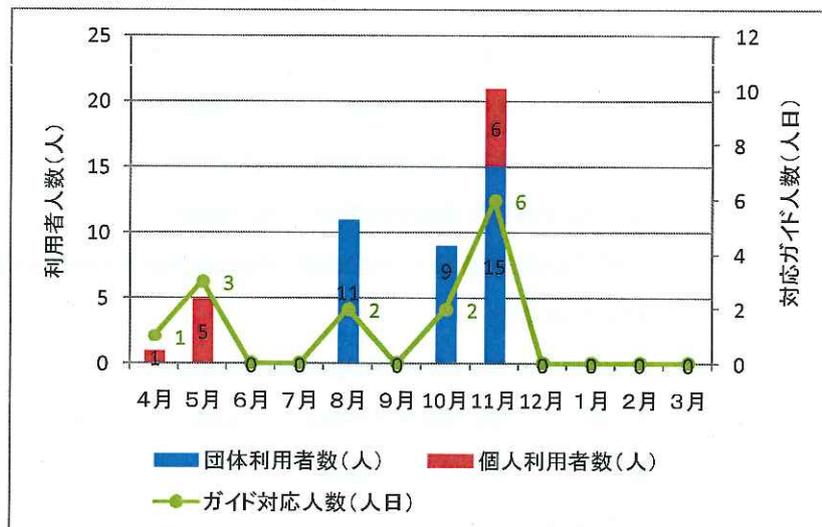


図 10：西大台地区におけるガイドの実施状況

注) 11月に3団体のガイドを実施しているが団体の合計人数は不明。

5-5. 救急体制

平成 20 年度、ガイドを実施している中で事故等の件数は 1 団体 2 件であった。その内容は、転倒による骨折であり、現場で応急処置を施している。また、各団体は事故等に備えて以下のように、連絡手段の確保や緊急用の装備品の携行により体制を整えている。

- ・ ガイド中は基地局又はビジターセンターとの連絡手段の確保として無線機を携帯、又は携帯電話を所持している。問題が発生した場合の連絡ができるようにしている。
- ・ テーピングなどの携行。頭痛薬などの携行。骨折時のギプス用に段ボールの携行。15m 程度のザイルの携行。
- ・ 緊急連絡先の確認（現場→事務所→救急へ連絡）地方消防への事前連絡。宿泊を伴う行事には引率の職員以外に事務所に宿直し緊急に備えている。

5-6. 苦情

平成 20 年度、利用者からの苦情の件数は 2 団体 2 件であった。その内容は、夏休み期間など、子供向けの行事において定員数が少なく、先着順であることへの不満や、ガイド実施中の歩く速度が速い又は遅いことに対するものであった。なお、歩く速度に関する苦情に対しては、グループ全体のペースを説明して理解を求めた。

5-7. ガイドの養成

(1) ガイド人材の過不足

ガイド人材については、将来的なものも含めると不足気味である傾向が読み取れる。

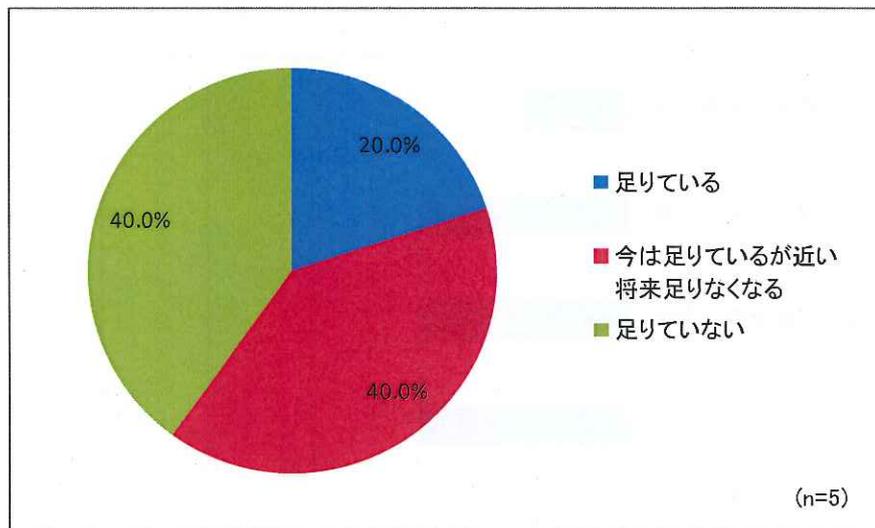


図 11：ガイド人材の過不足

(2) ガイド人材の受入れ

ガイド人材の受入れとしては、地域の人材を活用しようという団体が6割を占めたが、現況では特に募集等を行っていない団体も4割あった。

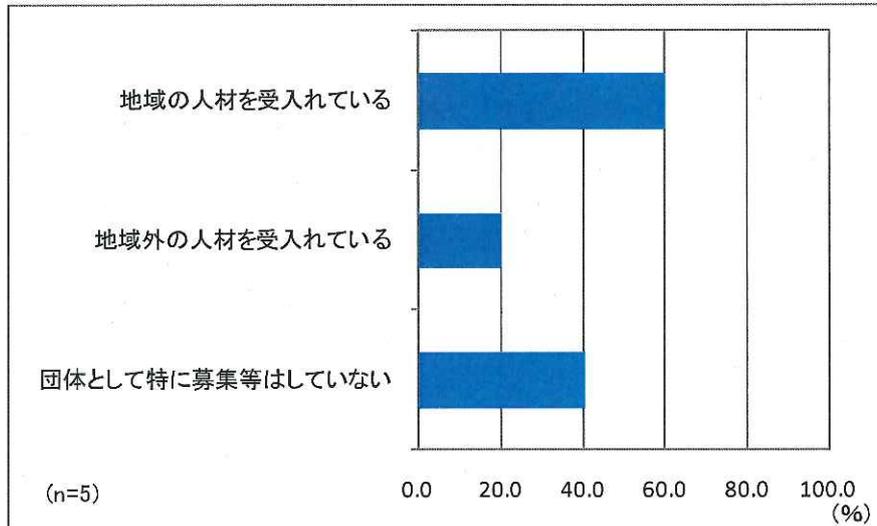


図 12：ガイド人材の受入れ

(3) ガイド技術向上のための取組

ガイド技術向上のための取組として、4割の団体が研修会等への参加の促進や独自の研修会の開催を行っていたが、特になにも行っていない団体も4割あった。

具体的な取組内容としては、他団体が実施する研修会や講習等への参加の促進や、案内方法、気配りなどガイドを実施する上での注意点の確認等を行っていた。

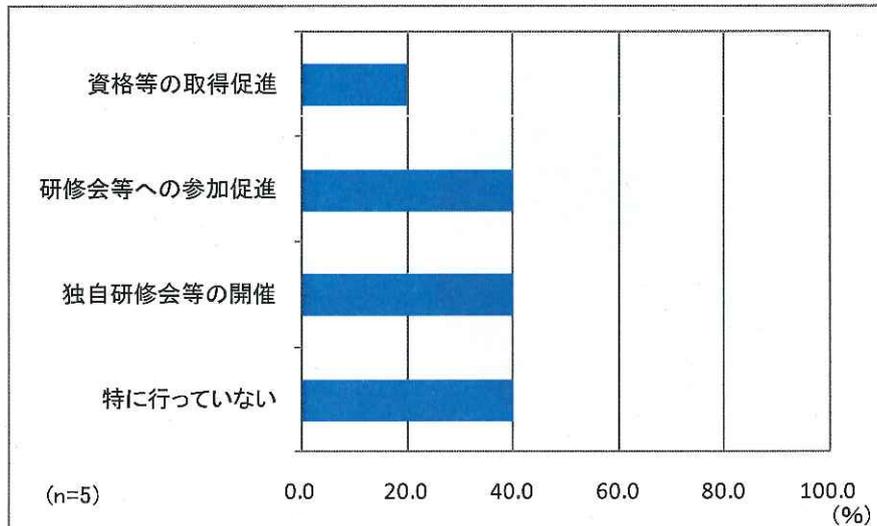


図 13：ガイド技術向上のための取組

5-8. 西大台利用調整地区におけるガイド制度への意向

(1) 登録制によるガイド制度への意向

西大台利用調整地区における登録制によるガイド制度への意向については、条件付きも含めると8割の団体が参加への意向を示している。

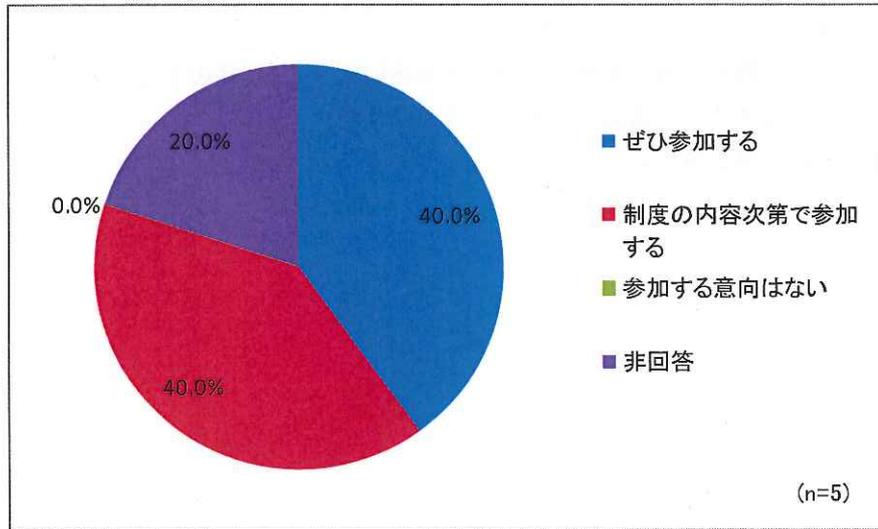


図 14：登録制によるガイド制度への意向

(2) 制度の内容に関する意向

制度の内容に関する意向については、2団体から回答を得た。サンプル数が少ないため、その傾向を読み取ることは難しいが、座学や実技による講習プログラムの受講が比較的的支持され、登録期間の有限化には消極的であったようである。

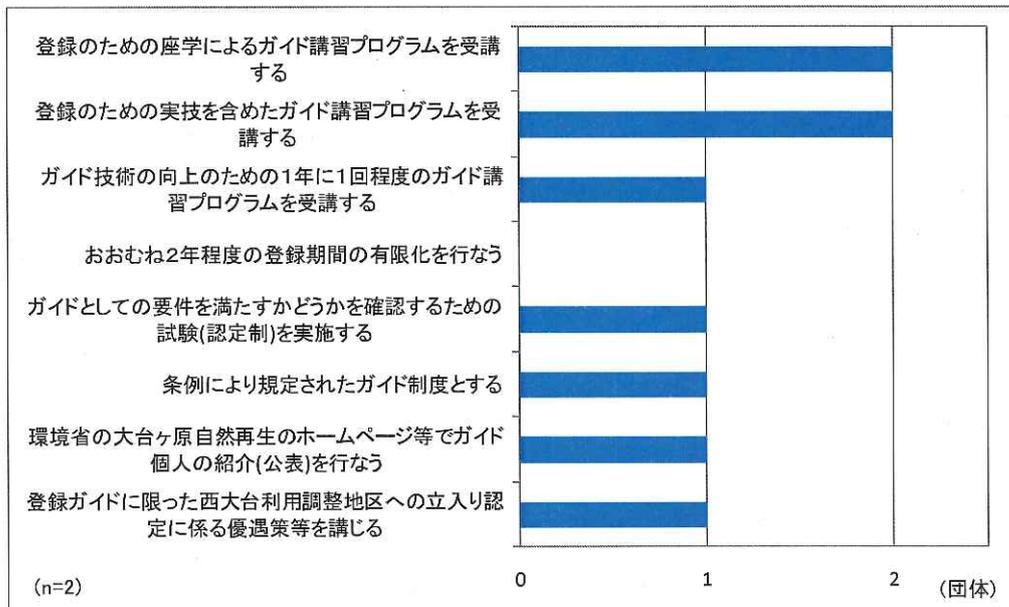


図 15：制度の内容に関する意向

(3) ガイド制度への意見・要望

ガイド制度に対しては、以下の意見や要望が出された。

- ・ 来山者に貴重な自然を知って貰えるので大いに賛成。
- ・ ガイド制にするなら一定以上の知識が必要なので研修などを行い、マニュアルのようなものが必要。
- ・ ツアーバス等は経費削減で添乗員兼ガイドが多いようだが、そのようなツアー会社へ「ガイド制」を強制すると、客足が減るような気がする。
- ・ 地元優先で行う事が望ましい。

自然体験プログラムの実施 上北山村エコツアーの開催

1. 実施概要

(1) 正式名称

吉野熊野国立公園 大台ヶ原の郷 上北山村エコツアー
—上北山村郷めぐりと大台ヶ原(西大台)の自然体験—

(2) 目的

上北山村の集落の魅力を発掘し、大台ヶ原山上と集落を結ぶことにより、地域の活性化に根ざした試行的なエコツアーとして、マイカーから公共交通機関(バス等)への乗り換える新たな利用のあり方を提案・研究すること。

(3) 主催者

共催：ワーク 21 上北山、上北山村、近畿地方環境事務所
後援：奈良県、上北山村商工会、奈良交通株式会社

(4) 実施日

① 第1回

平成20年10月25日(土)～26日(日) 1泊2日

② 第2回

平成20年11月10日(月)～11日(火) 1泊2日

(5) 開催場所

上北山村村内(集落及び大台ヶ原(西大台利用調整地区)山上)

(6) 参加費用

19,800円(税込み)

(7) 参加者数

表1：上北山村エコツアー参加者数

所属	第1回	第2回
一般参加者※1	9名	2名
ワーク21 上北山	1名	1名
上北山村	1名	1名
近畿地方環境事務所	1名※2	—
吉野自然保護官事務所	2名	1名
環境設計株式会社	1名	1名
合計	15名※3	6名

※1) 定員は両回とも各15名であった。

※2) 1日目のみ参加。

※3) 西大台利用調整地区への立入りに際しては、2班に分かれて入山した。

(8) 基本コース

■ 1日目：上北山村郷めぐり

- 8:00 榎原神宮前駅 中央出口 集合
- 11:00 林道椽谷西ノ谷線からの眺望と又剣山登山
- 14:00 特産品加工センターにて村の特産品「こんにゃく」と「とち餅」の試食
- 14:40 瀧川寺
- 15:30 新屋製箸所にて「割箸」の製作見学
- 17:00 お宿ふきや 到着後、自由行動、上北山温泉(薬師湯)入湯
- 18:30 夕食
- 20:00 大台ヶ原のスライド等の上映
- 20:30 夜の郷めぐり
- 21:30 就寝

■ 2日目：大台ヶ原(西大台)めぐり

- 5:00 景德寺にて座禅体験(希望者のみ)
- 6:30 朝食
- 7:30 大台ヶ原へ移動
- 8:30 事前レクチャー
- 9:00 西大台利用調整地区入山
- 14:00 大台ヶ原下山後、小処峡・クラガリ又谷の滝見学
- 15:00 小処温泉 入湯
- 18:30 榎原神宮前駅 中央出口 解散

(9) ガイド

① 第1回

上北山村郷めぐり：福嶋氏(ワーク 21 上北山)、松島氏(上北山村建設産業課)
大台ヶ原(西大台)めぐり：鎌田氏、小松氏(山岳ガイドクラブ北山いこら)

② 第2回

上北山村郷めぐり：福嶋氏(ワーク 21 上北山)、松島氏(上北山村建設産業課)
大台ヶ原(西大台)めぐり：岩本氏(trek kitayama)

(10) 広報

上北山村のダイレクトメール、大台ヶ原自然再生メールマガジン、きんき環境館メールマガジンによる情報提供と並行して、ツアー開催の案内や下図のチラシ(PDF)を上北山村ホームページ、近畿地方環境事務所ホームページ、環境設計株式会社ホームページ等に掲載した。

上北山村エコツアー

— 上北山村めぐりと大台ヶ原(西大台)の自然体験 —

第1回 10月25日(土)～26日(日) 800 種原神宮前駅中央出口集合
 第2回 11月10日(月)～11日(火) 800 種原神宮前駅中央出口集合

【1日目】～上北山村めぐり～

- 8:00 種原神宮前駅中央出口集合
- 10:00 林道林道ノ谷越えの雄姿と大台ヶ原山
- 11:00 大台ヶ原山頂
- 14:00 付見ふかセンターにて餅の時間
- 15:00 大台ヶ原山頂
- 15:40 新庄集落で「新庄」の餅作り
- 17:00 新庄ふかセンター、自然村
- 18:30 夕食
- 19:00 大台ヶ原の星空と夜景
- 20:00 夜明けまで
- 21:30 起床

【2日目】～大台ヶ原(西大台)めぐり～

- 5:00 早朝起床(朝食済)
- 6:00 朝食
- 7:00 大台ヶ原へ
- 8:00 大台ヶ原山頂
- 9:00 西大台ヶ原山頂、大台ヶ原山頂
- 11:00 大台ヶ原山頂、大台ヶ原山頂
- 13:00 大台ヶ原山頂
- 16:00 種原神宮前駅中央出口集合

定員：各15名
 参加費：19,800円(税込み)
 申し込み：上北山村協会 TEL:0744-3-6274 FAX:0744-3-3265

図1：広報チラシ (PDF/A4両面カラー)

2. 行程記録

(1) 第1回上北山村エコツアー行程記録

■ 1日目：10月25日(土) (天気：晴れ時々曇り)

7:30 橿原神宮前駅中央出口にスタッフ集合、福嶋、松島、杉田、瀬川、青谷、中橋。しばらくしてから奈良交通のバスが到着。車体側面に上北山村エコツアーのポスターを張り、雰囲気が高まる。



福嶋氏が参加者をお出迎え

8:00 ツアー参加者全員が揃い、上北山村に向かって出発。バスのなかで、福嶋氏、松島氏のご挨拶。お二人の掛け合い漫才のような挨拶に車内が和む。その後、瀬川自然保護官より、ツアーの概要説明があり、アンケート調査の協力と写真撮影のお許しをいただく。みなさん、車窓からの錦織る山紫水明の景色を楽しみながら、バスは一路上北山村へ向かう。

9:40 お宿ふきや に到着、早々に部屋割りと荷物整理を終え、ふきや お手製の弁当をバスに積み込む。



お宿ふきや に到着

10:00 又剣山に向かって出発。溪流沿いの林道椽谷西ノ谷線をバスで登る。林道の幅員は2m位で、所々に千尋の谷をのぞき、思わず冷や汗が流れる。バスの車体には木々の小枝がこすれ、奥山に向かうのを実感。標高が上がるにつれ、紅葉が深まる。

10:40 又剣山登山口に到着。お弁当を受け取り、頂上に向かって登山。急斜面を縦列で登る。近辺にクマがいるとの説明を受け、思わず緊張感が走る。クマ避けの鈴の音を聞きながら、11:15に大峰山脈遠望ポイントに到着。そこから釈迦ヶ岳(1799.6m)、仏生ヶ岳(1804.7m)、近畿最高峰の八経ヶ岳(1914.6m)などの山並みが連なるスペクタクルな景観を堪能。カエデの真っ赤な紅葉が鮮やかで、カメラのシャッターをきる音が、そこかしこから聞こえる。



真っ赤に紅葉したカエデ



頂上を目指して



雄大な大峰山脈の眺め

11:50 小休止後、10分程で頂上に到着(1377.2m)。そこでお弁当をいただく。頂上からの景色も抜群で、遠くに大台ヶ原が見える。望遠鏡を使えば大蛇嶺を登る登山者を見つけ、思わず歓声があがる。福嶋氏は裸眼で見えると、ブッシュマンぶりを発揮。笑い声に包まれる。



頂上から大台ヶ原を望む



全員で記念撮影



又剣山の頂上

13:00 登山口に戻り、コーヒープレイク。紅茶、ココアも用意され、キメ細かなサービスに参加者も感心。心も打ち解け、会話も弾む。



心のこもったコーヒープレイク

13:10 次の目的地、上北山村特産品加工センターに向けて出発。14:00に到着。センターの社長から、こんにやくと橡餅の作り方の説明を受け、試食品に舌鼓を打つ。14:35に次の目的地に向けて出発。



上北山村特産品加工センター



試食を楽しむ



原材料のコンニャク芋

14:40 南帝山 瀧川寺にて、抹茶とお菓子をいただきながら、和尚さんの説明に耳を傾ける。講堂は禅宗の造りで、今から552年前、後南朝時代の最後に建立された古刹。ご講話は南北朝時代の歴史、お釈迦様の仏教の教えから、皇族の訪問、講堂の再建、日本人の美意識などに及ぶ。みなさん興味深く拝聴。その後15:20、次の目的地に向けて出発。



瀧川寺



和尚さんのご講話

- 15:40 吉野杉から箸づくりを行う新屋製箸所に到着、割り箸の製作工程を見学。箸の加工は流れ作業で行われ、スタッフはどなたもキャリア 20 年以上、手馴れた手つきで、箸が量産される模様みなさん釘付け。ツアー参加者に体験を進められ、なんとかワンセットを加工。技術の深さを知り、しきりに感心される。お土産に、杉の香り豊かな割り箸と手づくりのクッキーをいただき、みなさん、笑みがこぼれる。工場の前で集合写真、工場のみなさんに送られて、16:10、ふきや に向かって出発。



割り箸の乾燥



参加者による箸製作体験

- 16:30 ふきや に到着。小休止後、上北山温泉で、全員一風呂浴びる。18:00 より、夕食。てんぷら、アユの煮付け、鶏肉の焼き物と山海の珍味が食卓を囲む。アルコールも進み、和気藹々と旅の話しに花が咲く。



夕食の模様



山・川・海の幸が並ぶ

- 20:00 スライドショー、大台ヶ原の四季、昭和初めの上北山村の模様を楽しむ。富士山が見えるのは年に6回程度、富士山のシルエットがくっきりと見え感動する。村の人口は、昔は3000人、今は700人と時代の違いを見たが、美しい自然はそのまま残る。これが上北山村の宝でもある。夜のツアーも予定されていたが、それは翌朝に回すこととし、それぞれ寝床につく。

■ 2日目：10月26日(日) (天気：雨のち曇り)

- 4:30 起床。洗面後、座禅を組みに景德寺に向けて出発。
- 5:00 景德寺に到着。和尚さんから、お寺の歴史をお聞きし、座禅の方法の指導を受ける。姿勢正しく、丹田に力を入れ、心を鎮め、無の境地になることを教わり、さっそく実践。心落ち着く、ひとときを過ごす。その後、村内の景色を高台より眺め、6:30 に ふきや に戻り朝食。



座禅で無の境地へ

7:30 大台ヶ原に向けて出発。マイクロバスを上北山村が手配。1時間で大台ヶ原に到着。時間も早く小雨模様のせい、山上駐車場には余裕があり、ドライブウェイの路肩駐車は見られなかった。



大台ヶ原に向けて

8:30 早速、ビジターセンターで事前レクチャーを受ける。西大台は、日本で初めての利用調整地区制度が導入された区域。その制度の仕組みと利用マナーの説明を受ける。本日の入山者予定者は45名。



事前レクチャー

9:00 ツアーは2班に分かれ出発、ガイドがエスコート。気温も低く、雨合羽を着用。西大台地区の入り口には、靴の裏についた外来種の種を落とすマットが敷かれ、通行者は全員、靴裏の泥を落とすよう義務付けられている。

西大台地区の面積は約450ha、周遊コースは5時間の予定。コースは緩斜面と平坦地の繰り返し。疎林、溪流の景色は手付かずの自然を感じさせ、どこか神秘性を感じる。そのなかを、休憩をはさみながら、ゆっくりと進む。



西大台へ入山

ガイドの説明は分かりやすく、みなさんじっと耳を傾ける。驚くことは所々に見るクマの痕跡である。鋭い歯で噛み切られた幹が無残に横たわり、ドングリを食べに登るミズナラの幹に鋭く食い込む爪跡、そして残された大きな糞を見ると、クマの生息を身近に感じ、その都度周囲に視線を転じ警戒する。



溪流を渡る

2時間ほど歩くと、開拓跡に出る。落葉樹林が多く、林床の遠くまで視線が通り、開放感に浸る。かつては入植者もいたが、食料不毛の地とわかり、開発を断念。その名残を所々に見る。

せせらぎを越え、中の谷に架かる橋を渡ったところの河原で昼食。時計を見れば、12時を回り、時間がかかりすぎたために、展望台のルートはカット。昼食時間を20分で切り上げ、12:20に到着点の駐車場に向かって出発。そこからは、急斜面、平坦地、急斜面と続き、最後の胸突き八丁



ガイドの説明の様子

を迎える。それでも、みなさん休憩をはさみながら、無事13:45に駐車場へ到着。その後、ビジターセンターでパンフレットに記念のスタンプを押し、14:00、予定通りに、西大台を後にする。



河原で昼食



縦列で進む



神秘性が漂う疎林



苔むす倒木

15:00 くらがり又谷の滝に到着。やまとの水に指定された幾重にも重なる豪快な滝の前で、集合写真。その後、小処温泉で入浴して、ふきやに戻る。



くらがり又谷の滝



記念写真



小処峡

16:30 休憩して、参加者はアンケート調査票に記入。そして、荷物整理。お見送りに、ツアーのみなさん手を振られ、バスは解散地の檀原神宮前駅に向けて出発。



アンケート調査に記入



お別れのあいさつ

18:00 バスは檀原神宮前駅に到着。そこで、解散、ツアーの参加者は満足げにバスを降り、「ありがとうございました」の言葉に、スタッフも笑顔で返す。福嶋氏、松島氏をはじめとした上北山村のみなさんの、心のこもった対応が、エコツアーの成功の源になりました。



檀原神宮前駅で解散

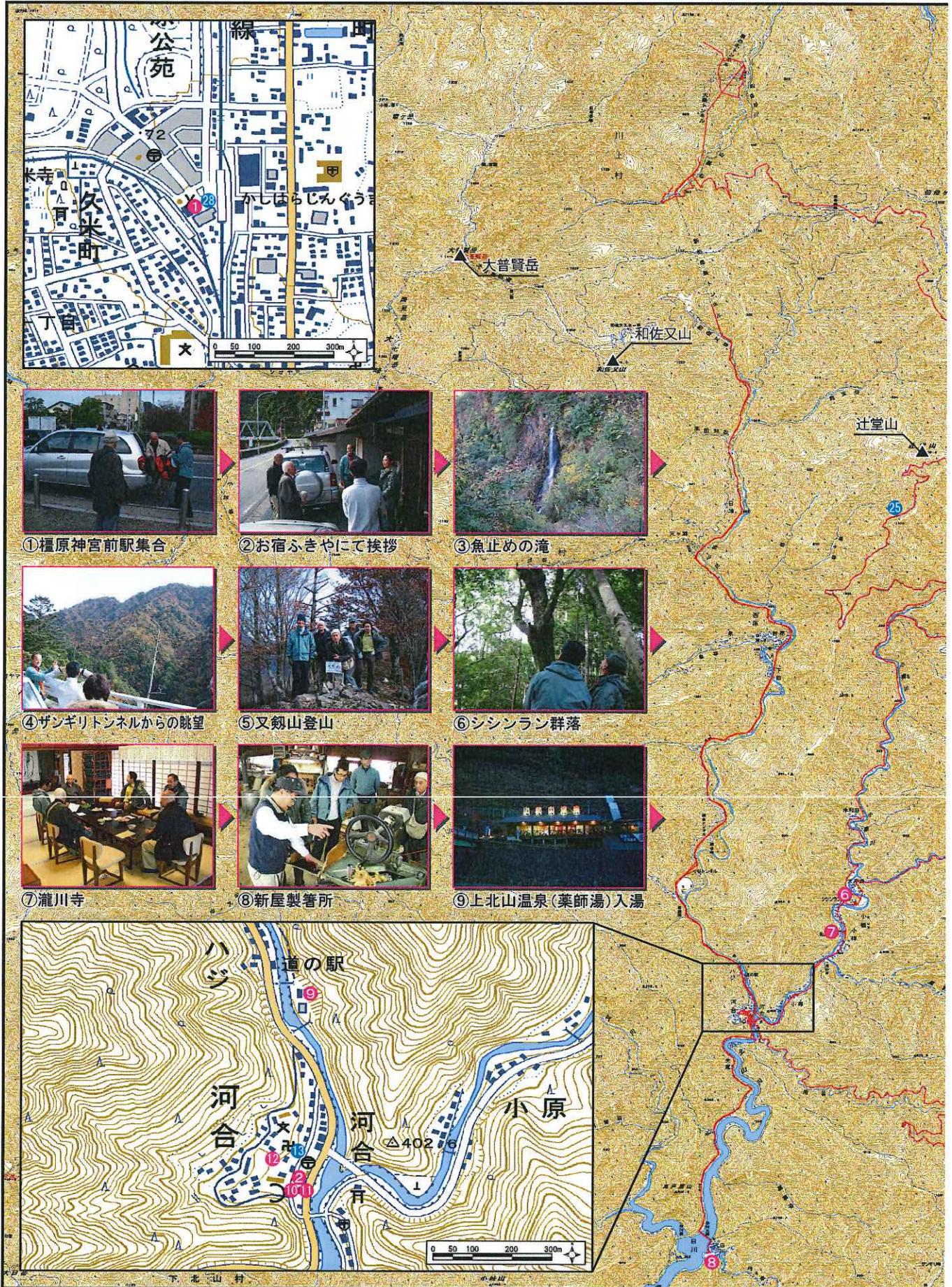
(2) 第2回上北山村エコツアー行程記録

■ 1日目：11月10日(月) (天気：曇り時々晴れ)

番号	行程	時刻	緯度	経度	高度
①	櫃原神宮前駅集合	8:00	34° 29' 01.57"	135° 37' 37.56"	83.27m
②	お宿ふきやにて挨拶	9:45	34° 08' 02.85"	136° 00' 04.28"	368.06m
③	魚止めの滝	10:00	34° 07' 22.19"	136° 01' 37.43"	600.70m
④	ザンギリトンネルからの眺望	10:15	34° 07' 08.95"	136° 02' 23.89"	872.99m
⑤	又劔山登山	11:30	34° 08' 47.13"	136° 03' 41.86"	1386.33m
⑥	シシンラン群落	13:40	34° 08' 53.64"	136° 00' 53.44"	358.69m
⑦	瀧川寺	13:50	34° 08' 41.16"	136° 00' 48.71"	350.04m
⑧	新屋製箸所	15:10	34° 06' 19.34"	135° 59' 43.94"	401.23m
⑨	上北山温泉(薬師湯)入湯	16:30	34° 08' 21.20"	136° 00' 02.21"	340.91m
⑩	お宿ふきやにて夕食	18:10	34° 08' 02.85"	136° 00' 04.28"	368.06m
⑪	大台ヶ原のスライド上映	19:30	34° 08' 02.85"	136° 00' 04.28"	368.06m
⑫	夜の郷めぐり	21:00	34° 08' 06.67"	136° 00' 01.15"	366.00m

■ 2日目：11月11日(火) (天気：曇り)

番号	行程	時刻	緯度	経度	高度
⑬	座禅体験(景德寺)	5:00	34° 08' 04.85"	136° 00' 02.10"	328.41m
⑭	ドライブウェイ崩落現場	8:00	34° 12' 22.80"	136° 02' 53.72"	1401.71m
⑮	事前レクチャー	8:45	34° 10' 49.69"	136° 05' 51.05"	1582.20m
⑯	足ふきマット	9:20	34° 10' 57.46"	136° 05' 44.84"	1565.00m
⑰	入下山者カウンターの説明	9:25	34° 10' 56.67"	136° 05' 45.35"	1565.38m
⑱	ハリギリの説明	9:40	34° 11' 08.34"	136° 05' 39.07"	1500.73m
⑲	防鹿柵の説明	9:50	34° 11' 05.41"	136° 05' 33.58"	1497.12m
⑳	モミ・ミヤマシキミの説明	11:10	34° 11' 24.49"	136° 04' 47.31"	1381.77m
㉑	開拓跡の説明	11:30	34° 11' 22.89"	136° 04' 25.49"	1327.21m
㉒	団体利用者との遭遇	12:45	34° 11' 12.56"	136° 04' 45.48"	1400.00m
㉓	昔の里山の説明	13:10	34° 11' 09.11"	136° 05' 09.29"	1411.09m
㉔	西大台めぐり終了	14:00	34° 10' 49.56"	136° 05' 51.55"	1578.00m
㉕	林道辻堂山線からの眺望	14:30	34° 11' 46.99"	136° 01' 14.46"	1066.46m
㉖	くらがり又谷の滝	15:00	34° 10' 59.68"	136° 02' 30.29"	583.40m
㉗	小処温泉入湯	15:10	34° 10' 46.72"	136° 01' 51.70"	527.40m
㉘	櫃原神宮前駅解散	18:10	34° 29' 01.71"	135° 47' 37.74"	85.20m



① 檀原神宮前駅集合



② お宿ふきやにて挨拶



③ 魚止めの滝



④ ザンギリトシネルからの眺望



⑤ 又劔山登山



⑥ シンラン群落



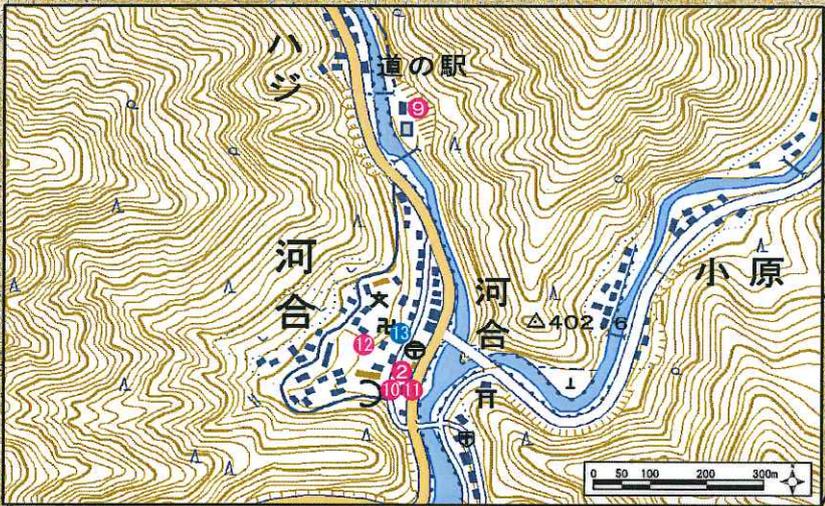
⑦ 瀧川寺



⑧ 新屋製箸所



⑨ 上北山温泉(薬師湯)入湯





⑩お宿ふきやにて夕食



⑪大台ヶ原のスライド上映



⑫夜の郷めぐり



⑬座禅体験 (景德寺)



⑭ドライブウェイ崩落現場



⑮事前レクチャー



⑯足ふきマット



⑰入下山者カウンターの説明



⑱ハリギリの説明



⑲防鹿柵の説明



⑳モミ・ミヤマシキミの説明



㉑開拓跡の説明



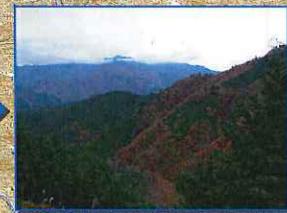
㉒団体利用者との遭遇



㉓昔の里山の説明



㉔西大台めぐり終了



㉕林道辻堂山線からの眺望



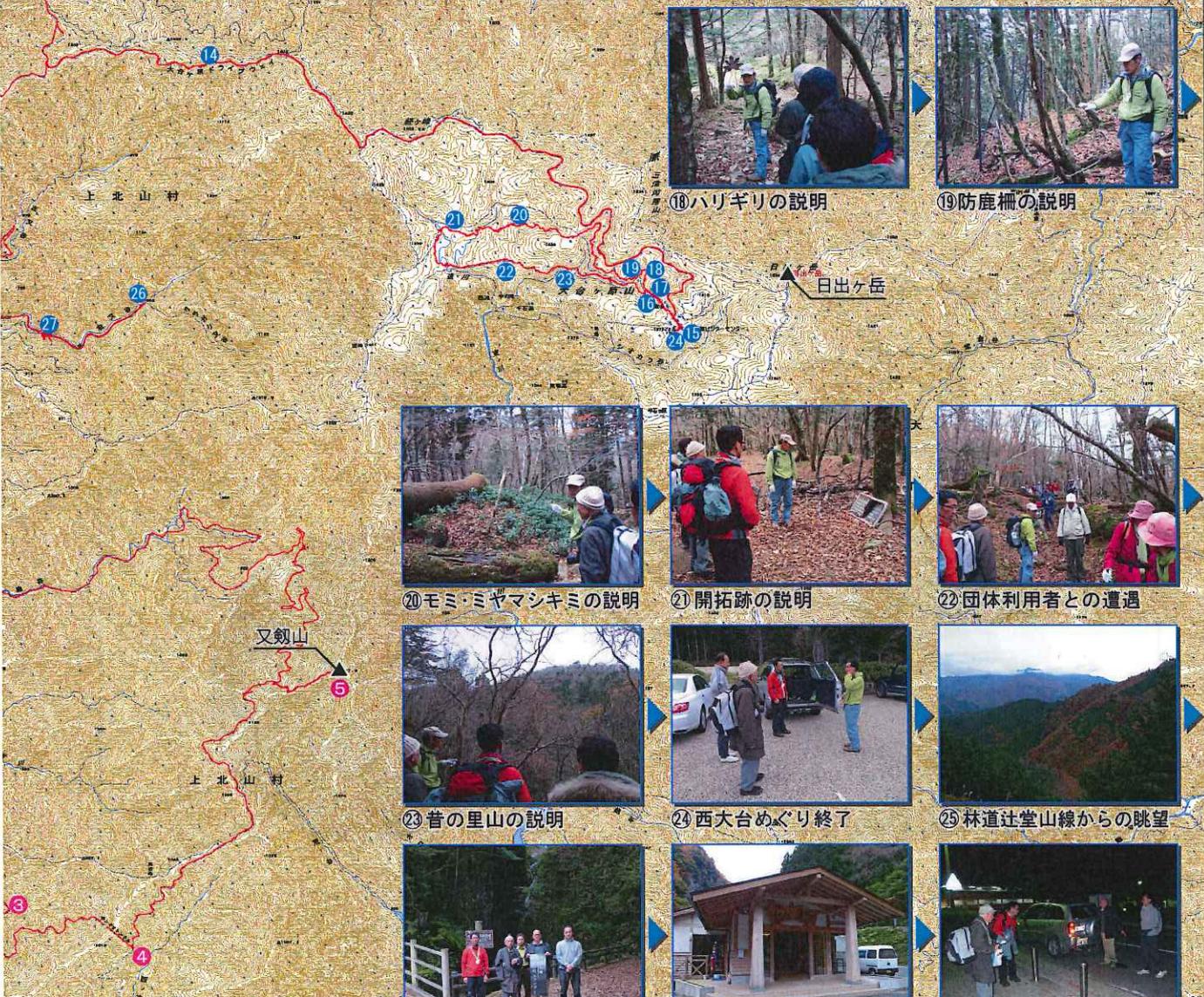
㉖くらがり又谷の滝



㉗小処温泉入湯



㉘檀原神宮前駅解散



凡例

- 通過経路 (GPSによる自動記録)
- ① 上北山村郷めぐり (1日目) の行程
- ② 大台ヶ原 (西大台) めぐり (2日目) の行程

上北山村エコツアー (第2回) 行程記録

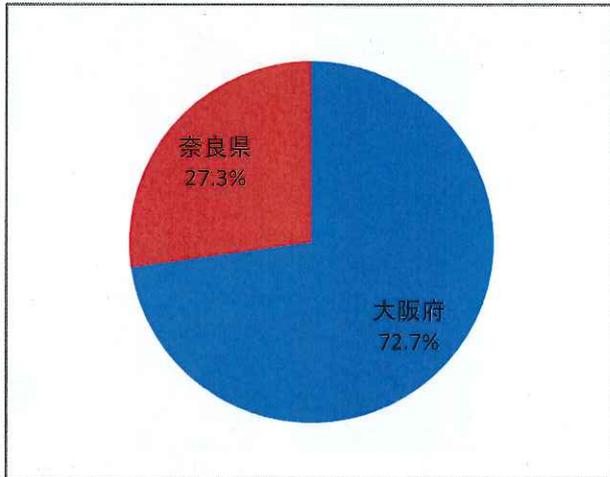


上北エコツアー アンケート集計結果

1-1. 住まい

都道府県	サンプル数	%
大阪府	8	72.7
奈良県	3	27.3
合計	11	100.0

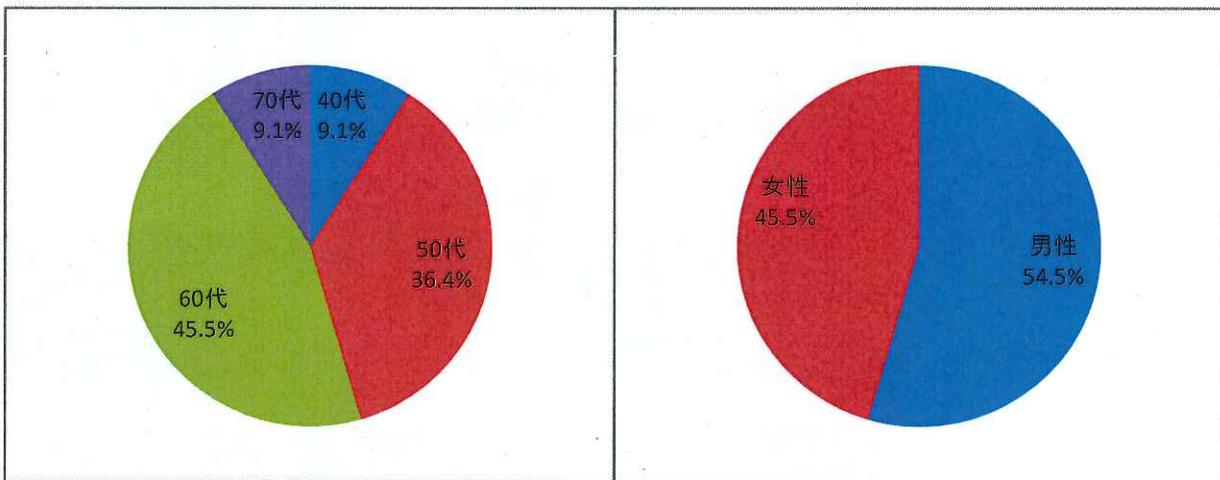
参加者数 第1回 9人
第2回 2人



1-2. 年齢・性別

項目	サンプル数	%
40代	1	9.1
50代	4	36.4
60代	5	45.5
70代	1	9.1
合計	11	100.0

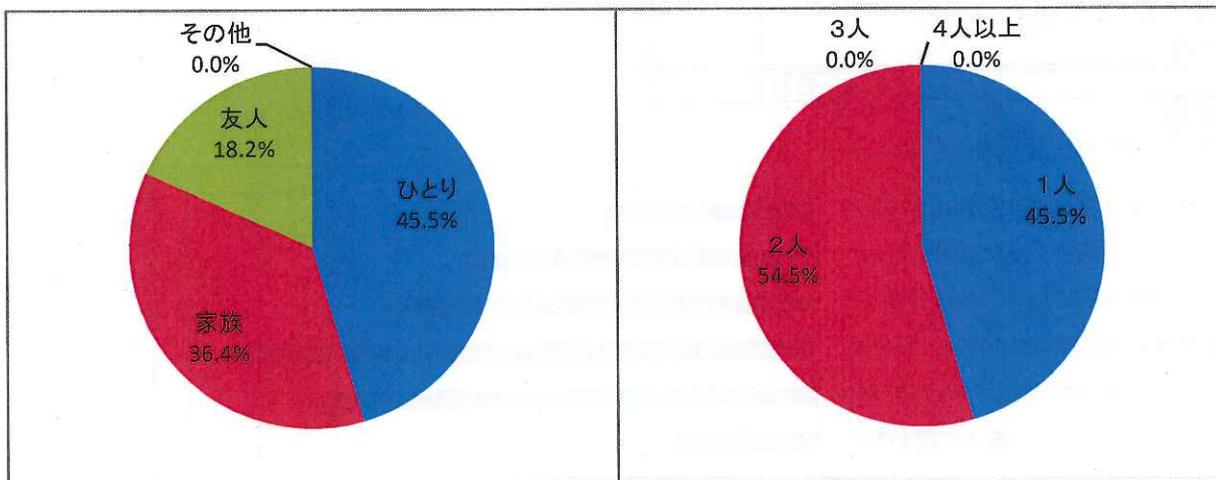
項目	サンプル数	%
男性	6	54.5
女性	5	45.5
合計	11	100.0



1-3. グループ形態・人数

項目	サンプル数	%
ひとり	5	45.5
家族	4	36.4
友人	2	18.2
その他	0	0.0
合計	11	100.0

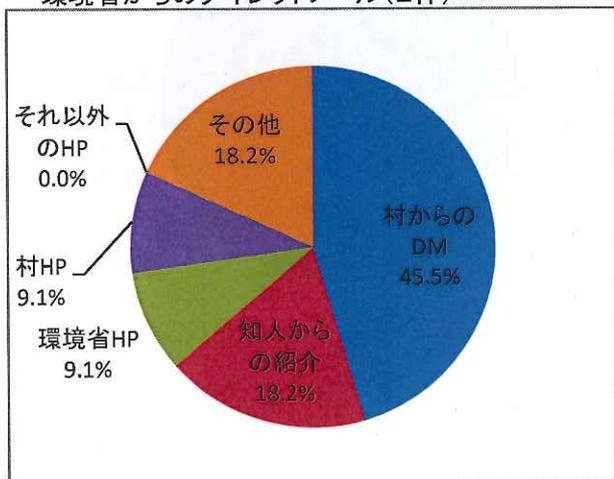
項目	サンプル数	%
1人	5	45.5
2人	6	54.5
3人	0	0.0
4人以上	0	0.0
合計	11	100.0



1-4. ツアーの認知場所

選択肢	サンプル数	%
村からのDM	5	45.5
知人からの紹介	2	18.2
環境省HP	1	9.1
村HP	1	9.1
それ以外のHP	0	0.0
その他	2	18.2
合計	11	100.0

その他
・環境省からのダイレクトメール(2件)

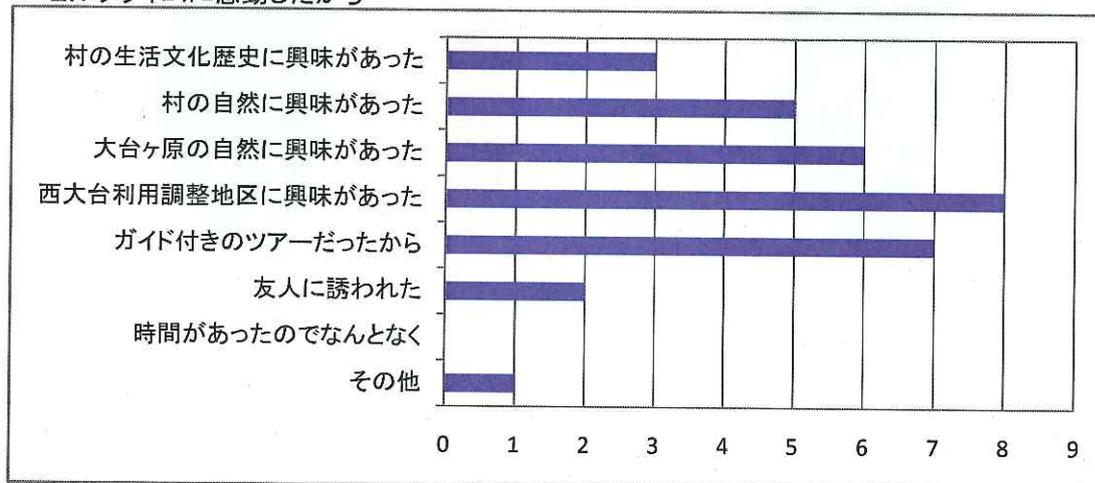


1-5. ツアーの参加動機(複数回答)

項目	サンプル数
村の生活文化歴史に興味があった	3
村の自然に興味があった	5
大台ヶ原の自然に興味があった	6
西大台利用調整地区に興味があった	8
ガイド付きのツアーだったから	7
友人に誘われた	2
時間があったのでなんとなく	0
その他	1
合計	32

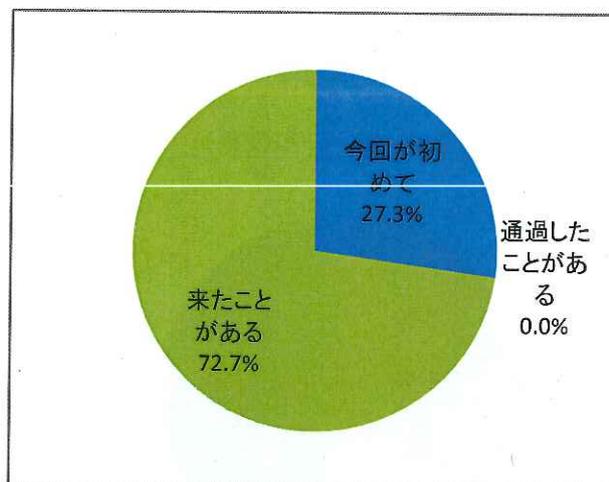
その他

・ヒルクライムに感動したから



1-6. 村への来訪経験

選択肢	サンプル数	%
今回が初めて	3	27.3
通過したことがある	0	0.0
来たことがある	8	72.7
合計	11	100.0

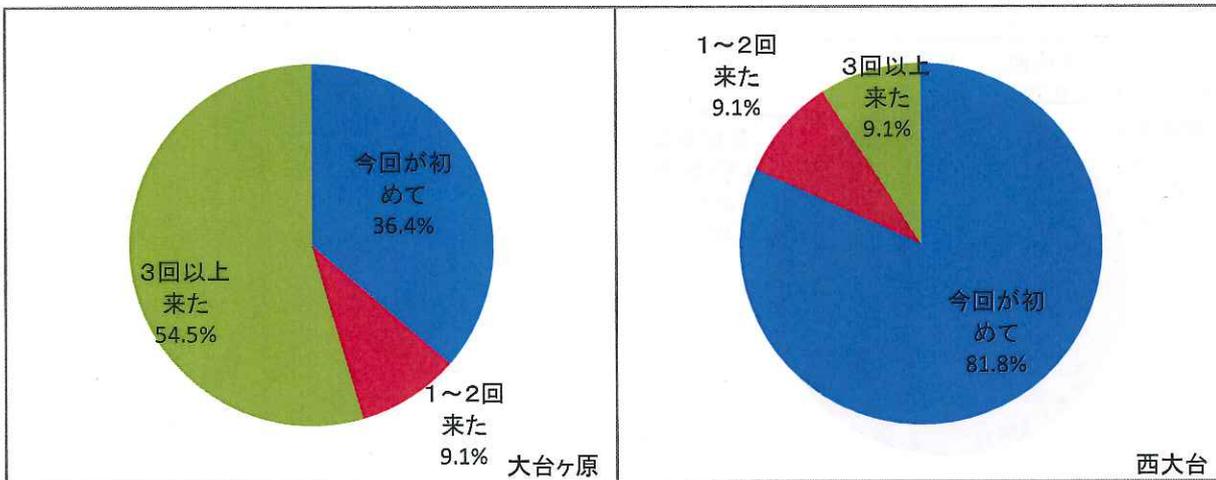


(来訪箇所)

項目	サンプル数
施設	道の駅 2
山岳	大台ヶ原 4
	大普賢岳 2
	行者還岳 1
	和佐又山 1
	伯母ヶ岳 1
温泉	上北山温泉 3
	小処温泉 1
	温泉 1
イベント	ヒルクライム 1

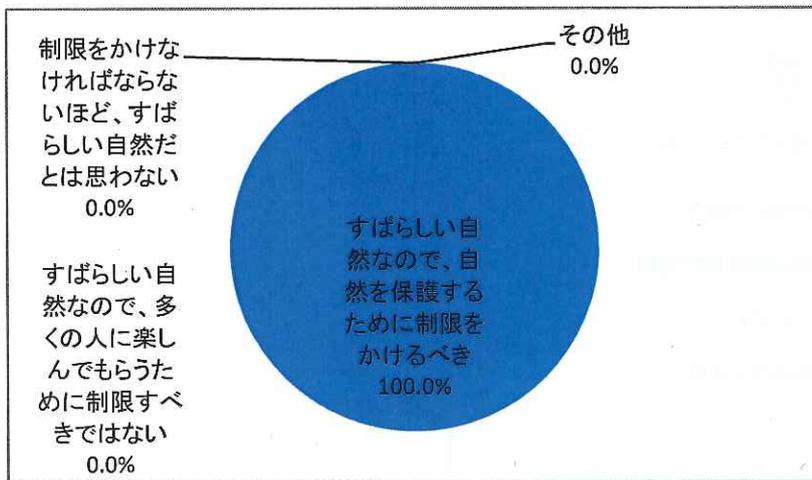
1-7. 大台ヶ原・西大台の来訪経験

選択肢	大台ヶ原	%	西大台	%
今回が初めて	4	36.4	9	81.8
1～2回来た	1	9.1	1	9.1
3回以上来た	6	54.5	1	9.1
合計	11	100.0	11	100.0



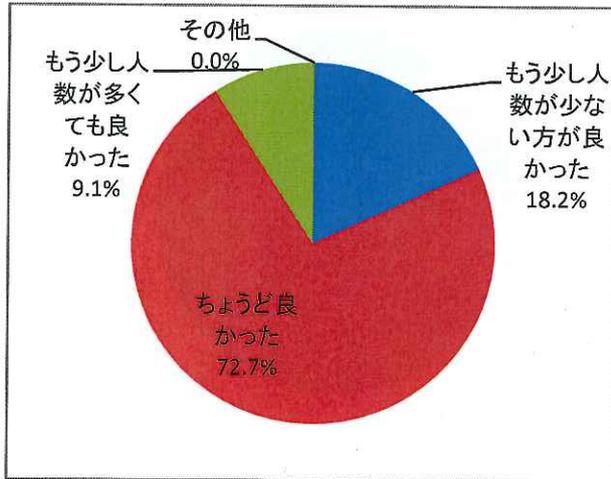
2-1. 西大台の感想

選択肢	サンプル数	%
素晴らしい自然なので、自然を保護するために制限をかけるべき	11	100.0
素晴らしい自然なので、多くの人に楽しんでもらうために制限すべきではない	0	0.0
制限をかけなければならないほど、素晴らしい自然だとは思わない	0	0.0
その他	0	0.0
合計	11	100.0



2-2. 西大台の団体制限

選択肢	サンプル数	%
もう少し人数が少ない方が良かった	2	18.2
ちょうど良かった	8	72.7
もう少し人数が多くても良かった	1	9.1
その他	0	0.0
合計	11	100.0

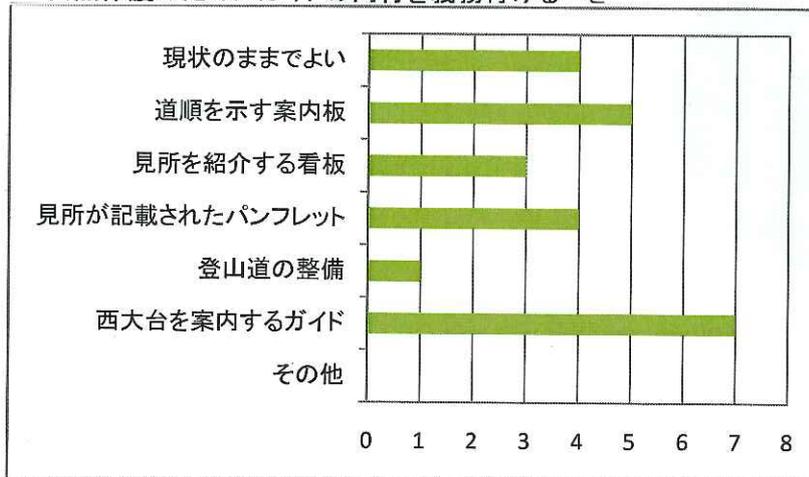


2-3. 西大台に必要なもの(複数回答)

項目	サンプル数
現状のままでよい	4
道順を示す案内板	5
見所を紹介する看板	3
見所が記載されたパンフレット	4
登山道の整備	1
西大台を案内するガイド	7
その他	0
合計	24

特筆事項

- ・自然保護のためにガイドの同行を義務付けるべき



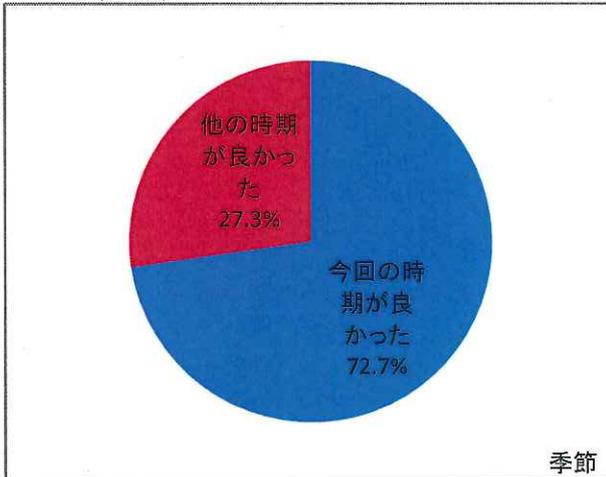
3-1. ツアーの開催時期

【季節】

選択肢	サンプル数	%
今回の時期が良かった	8	72.7
他の時期が良かった	3	27.3
合計	11	100.0

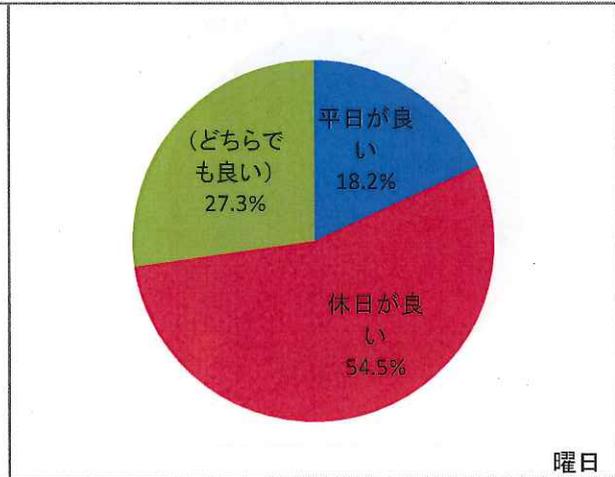
他の時期

- ・春・秋 年2回(2件)
- ・花の咲く頃



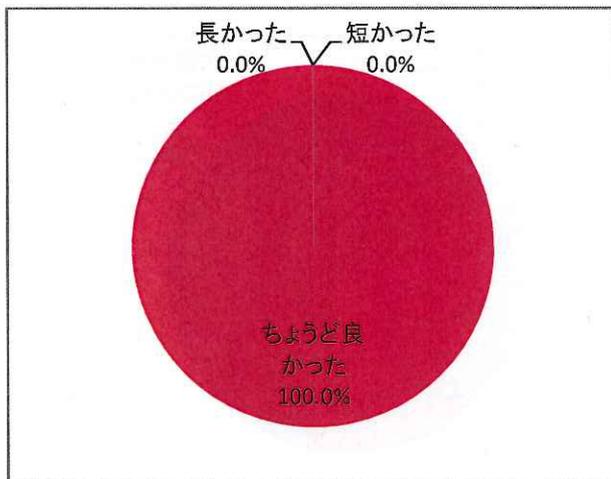
【曜日】

選択肢	サンプル数	%
平日が良い	2	18.2
休日が良い	6	54.5
(どちらでも良い)	3	27.3
合計	11	100.0



3-2. ツアーの行程

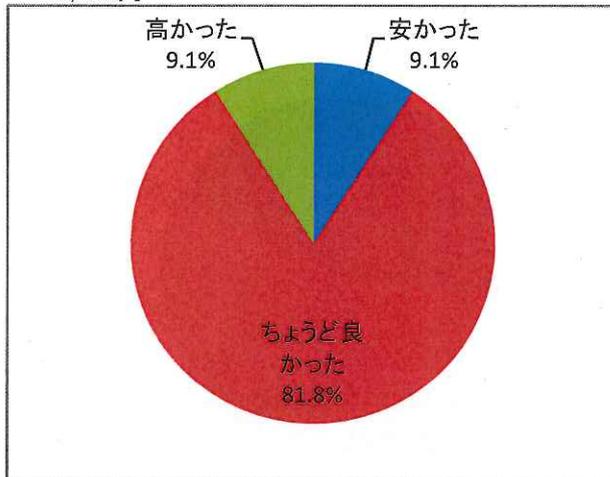
選択肢	サンプル数	%
短かった	0	0.0
ちょうど良かった	11	100.0
長かった	0	0.0
合計	11	100.0



3-3. ツアーの参加費用

選択肢	サンプル数	%
安かった	1	9.1
ちょうど良かった	9	81.8
高かった	1	9.1
合計	11	100.0

希望金額
・18,000円



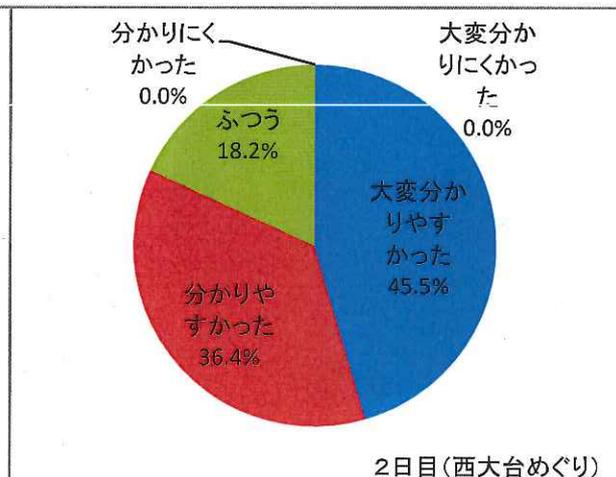
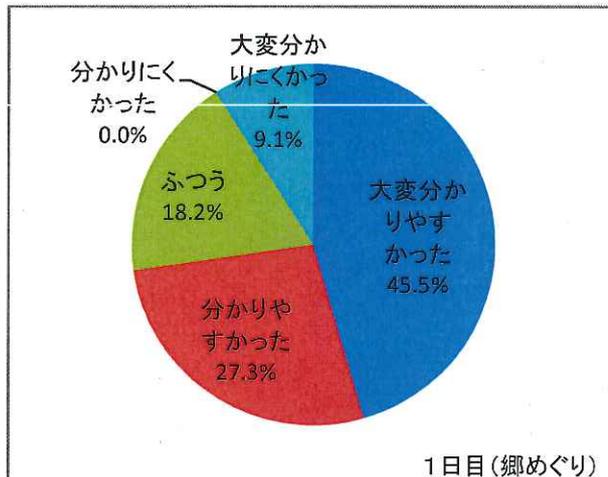
3-4. ガイドの説明の分かりやすさ

【1日目(郷めぐり)】

選択肢	サンプル数	%
大変分かりやすかった	5	45.5
分かりやすかった	3	27.3
ふつう	2	18.2
分かりにくかった	0	0.0
大変分かりにくかった	1	9.1
合計	11	100.0

【2日目(西大台めぐり)】

選択肢	サンプル数	%
大変分かりやすかった	5	45.5
分かりやすかった	4	36.4
ふつう	2	18.2
分かりにくかった	0	0.0
大変分かりにくかった	0	0.0
合計	11	100.0



3-5. ガイドへの意見

- ・大変楽しく過ごさせていただき感謝です。
- ・しっかりとした人でやさしく、説明も分かりやすかったです。
- ・かゆい所に手が届くほど親切
- ・分かりやすく説明して頂いたのですが、時間があまりなく、また、雨のため残念でした。
- ・非常に良かった。
- ・こまやかな心遣い
- ・2日目はゆっくり歩き、説明も多かったので楽しめました。

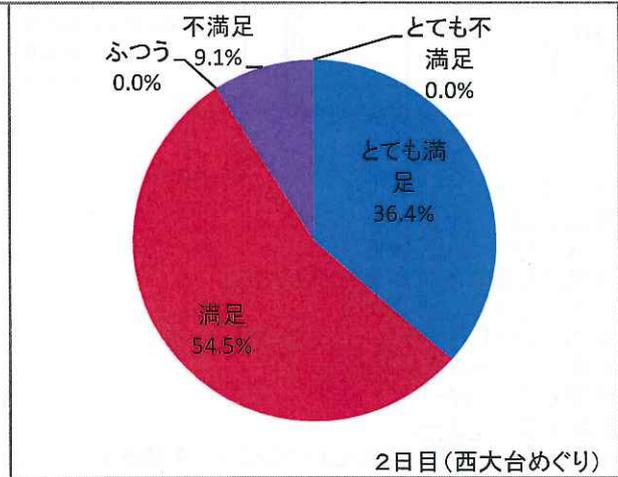
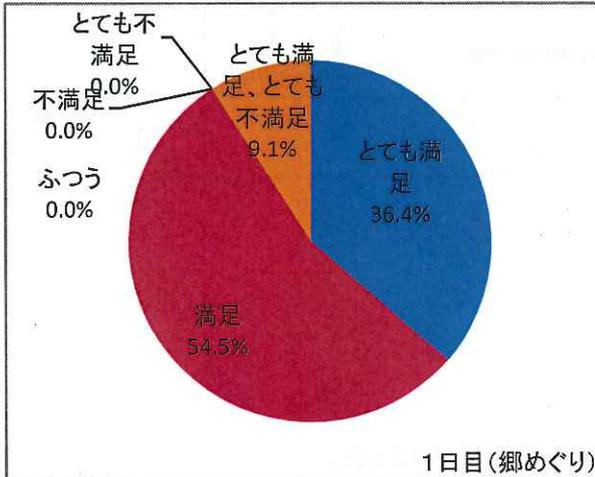
3-6. ツアーの満足度

【1日目(郷めぐり)】

選択肢	サンプル数	%
とても満足	4	36.4
満足	6	54.5
ふつう	0	0.0
不満足	0	0.0
とても不満足	0	0.0
とても満足、とても不満足	1	9.1
合計	11	100.0

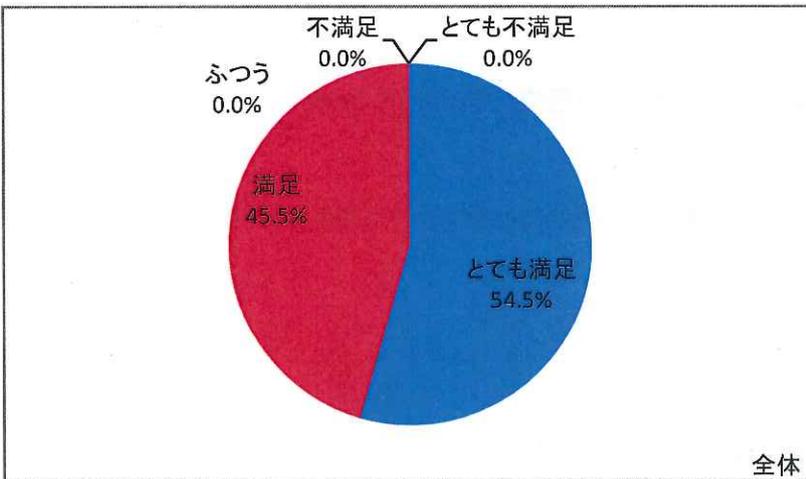
【2日目(西大台めぐり)】

選択肢	サンプル数	%
とても満足	4	36.4
満足	6	54.5
ふつう	0	0.0
不満足	1	9.1
とても不満足	0	0.0
合計	11	100.0



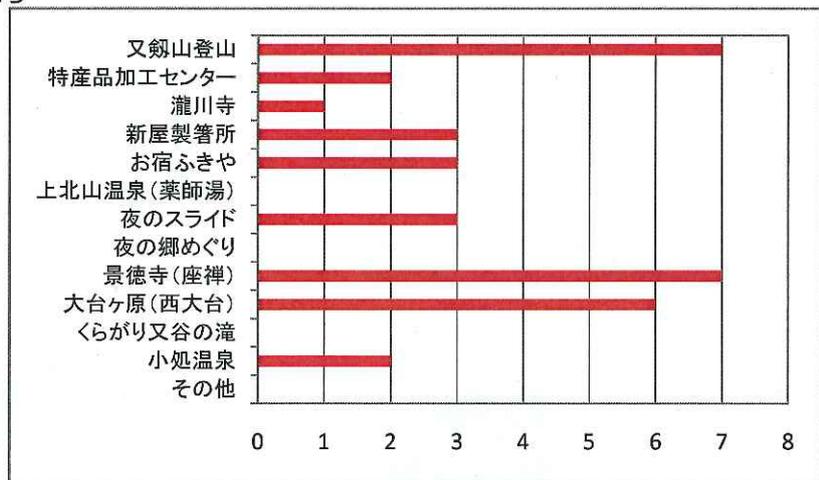
【全体】

選択肢	サンプル数	%
とても満足	6	54.5
満足	5	45.5
ふつう	0	0.0
不満足	0	0.0
とても不満足	0	0.0
合計	11	100.0



3-7. エコツアーの中で良かったところ

項目	サンプル数
又劔山登山	7
特産品加工センター	2
瀧川寺	1
新屋製箸所	3
お宿ふきや	3
上北山温泉(薬師湯)	0
夜のスライド	3
夜の郷めぐり	0
景德寺(座禅)	7
大台ヶ原(西大台)	6
くらがり又谷の滝	0
小処温泉	2
その他	0



【コメント】

又劔山登山

- ・天候・景色・ガイド絶好
- ・天気にも恵まれて非常に良かった。
- ・山のたたずまいや静けさ
- ・初めてのところで良かった。眺望もよい。
- ・紅葉がとてもきれいだった。
- ・時期が良かった。

特産品加工センター

- ・心のこもった説明とおいしいコンニャクを頂きました。思わず買ってしまいました。
- ・仕事に対するこだわり。自信を持って仕事をしておられた点。

瀧川寺

- ・説明が親切でした。

新屋製箸所

- ・仕事に対するこだわり。自信を持って仕事をしておられた点。
- ・体験をさせて頂いたり、高いお土産までありがとうございました。これからは、使い捨てるのがもったいないです。
- ・説明が親切でした。

お宿ふきや

- ・とても親切で食事もおいしかったです。
- ・心配りがうれしかった
- ・飾り気のないところ

夜のスライド

- ・大台ヶ原の知識をゆっくり得られた。上北山村の貴重な歴史を学ばせてもらった。
- ・事前に大台ヶ原のことが分かってよかった。
- ・昔の暮らしが良かったです。

景德寺(座禅)

- ・座禅また、お話と良い体験になりました。また、私たちのために掛軸をかけて頂きありがたかった。
- ・40年ぶりくらいに座禅をさせて頂きました。
- ・上北山村の歴史を感じる体験だった。
- ・座禅が初めてで面白かった
- ・初めての体験で感激した。
- ・座禅初体験でしたが、気分が良かった。
- ・初体験のため。

大台ヶ原(西大台)

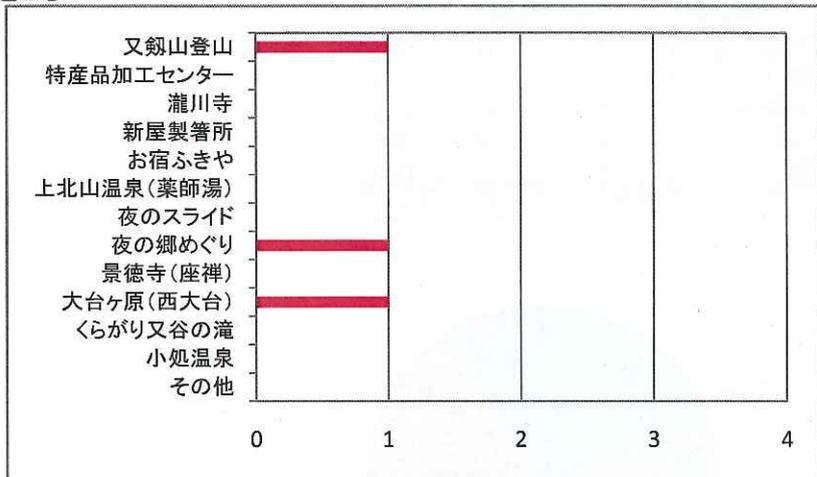
- ・開拓跡の風景が特に印象的(諸行無常を深く感じた)
- ・ガイドがついて頂いたので良かった。
- ・小雨の中、自然の中を歩くのはすばらしい
- ・山のたたずまいや静けさ
- ・規制があり、入山の手続きを自分ではなかなかやれないが、手続きをすべてしてもらえ、案内してもらえたため。

小処温泉

- ・少し遠いため行きにくいですが案内してもらえ、お湯も景色も良かったため。

3-8. エコツアーの中で良くなかったところ

項目	サンプル数
又劔山登山	1
特産品加工センター	0
瀧川寺	0
新屋製箸所	0
お宿ふきや	0
上北山温泉(薬師湯)	0
夜のスライド	0
夜の郷めぐり	1
景德寺(座禅)	0
大台ヶ原(西大台)	1
くらがり又谷の滝	0
小処温泉	0
その他	0



【コメント】

又劔山登山

- ・少し物足りませんでした。

夜の郷めぐり

- ・行かなかった

大台ヶ原(西大台)

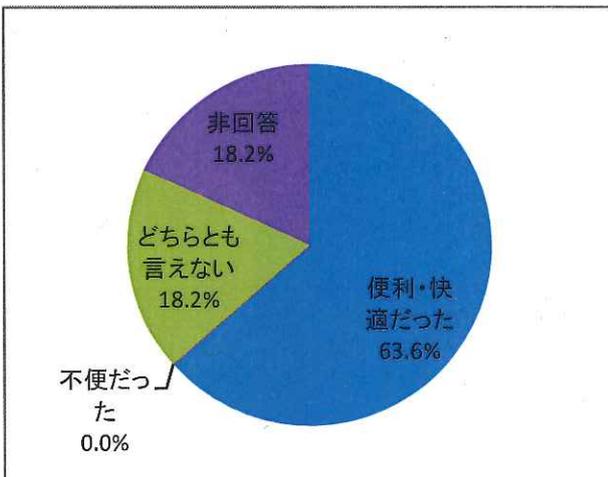
- ・時期が1週間早ければよかったのに。せっかく地元が加わっているのに残念でした。
(天候に関連するので仕方ないですね)

全体

- ・なし
- ・特にありません。すべて良かったです。

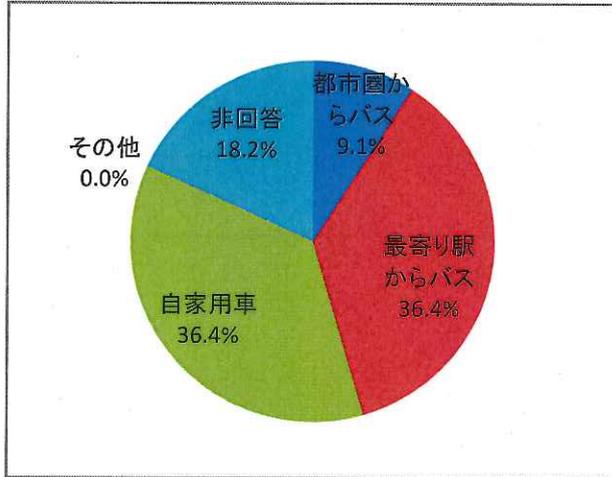
3-9. 公共交通機関の利用の感想

選択肢	サンプル数	%
便利・快適だった	7	63.6
不便だった	0	0.0
どちらとも言えない	2	18.2
非回答	2	18.2
合計	11	100.0



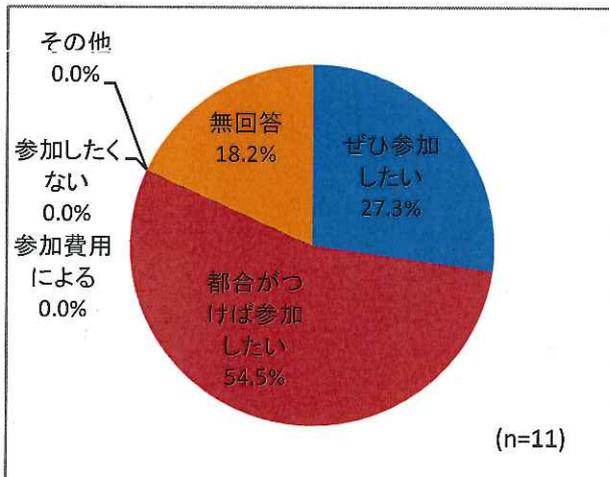
3-10. 次回来訪時の交通手段

選択肢	サンプル数	%
都市圏からバス	1	9.1
最寄り駅からバス	4	36.4
自家用車	4	36.4
その他	0	0.0
非回答	2	18.2
合計	11	100.0



3-11. 今後の参加の意向

選択肢	サンプル数	%
ぜひ参加したい	3	27.3
都合がつけば参加したい	6	54.5
参加したくない	0	0.0
参加費用による	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	2	18.2
合計	11	100.0



3-12. ツアーへの意見

(60代/男性)

- ・上北山村の皆様の地域を愛する気持ちに触れることができ、楽しい時間を過ごすことができました。お世話して下さった方々に感謝。

(50代/女性)

- ・集合場所から上北山村までのコース(バス)の簡単なガイドがあればと思いました。
- ・又劔山での植物の説明等をもう少しして欲しかったと思いました。

(60代/女性)

- ・スタッフの皆さんの気持ち良い対応にいつもうれしく思っています。また参加させて下さい。

(50代/男性)

- ・自然を大切に残したい。すばらしい。

(50代/女性)

- ・上北山温泉の受付の人に町民割引券を出したら、不審に思われ、聞かれたので連絡して欲しかった。
- ・バスの中でタイムテーブル(時間のスケジュール)を書いた紙が欲しかった。

(60代/女性)

- ・難波集合にして頂ければとてもうれしいです。もっと参加ができるようになると思います。

(70代/男性)

- ・大変アットホームなスタッフの皆様。
- ・予定表や略図(案内図)等が欲しかった。
- ・主催が分かりにくかった。

(40代/男性)

- ・交通手段については、送迎がなくてもバスで行ける時間であれば、バスの利用も検討したいと思います。
- ・行程については、日帰り(西大台のみ)でもいいのでは、と感じました。

平成20年度吉野熊野国立公園西大台利用調整地区の モニタリング評価（利用のあり方）

平成20年度西大台利用調整地区モニタリング調査のうち、利用のあり方に関する以下の調査項目について大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会利用対策部会で検討した。

利用調整の運用後1年が経過し、人の利用による影響が軽減したと考えられる変化が現れ始めたが、現状は過剰利用からの回復過程と考えられることから、平成19年度及び平成20年度の調査結果を初期値として位置づけ、今後も継続的にモニタリングを実施し、評価することが必要と考えられる。

このことから、吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画については変更せず、継続することが必要であると考えられる。

記

■大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会利用対策部会で評価する「利用のあり方」に関する調査項目及び評価概要

調査項目		評価概要
利用実態	認定関係事務の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 開山期間中の立入認定者数は、合計1,288人であった。 延べ上限人数(10,790人)に対する比率は、11.9%と非常に低率に留まっており、平成19年度(10.3%)と同程度である。 利用集中を防ぐ効果が見られている。
	巡視及び違反者等への指導状況	<ul style="list-style-type: none"> 無認定立入者への指導は32人(一月あたり4.6人)と平成19年度の40人(一月あたり13.3人)より減少している。 無認定立入者に対して、巡視により発見し、制度を説明し退出を指示する等、適切に指導を行っているが、無認定立入者は後を絶たないため、今後とも徹底する必要がある。
利用者意識	事前レクチャーに関するアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> レクチャーの長さ、内容、配付冊子に関しては、過半数の受講者が満足と回答した。
	西大台利用調整地区利用後のアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 利用調整地区への満足度について約7割の利用者が満足と回答し、7割強の利用者が再訪の意向を示したことから利用調整地区への評価は概ね高いと考えられる。 歩道外の歩行やゴミの投棄等の問題行動が目撃されており、今後も、利用マナーの徹底等の対策が求められる。
利用施設	歩道現況調査	<ul style="list-style-type: none"> 利用調整地区の指定による利用者数の減少及び、ロープ柵の設置等によって、歩道の複線化は解消されつつある。植生についても、一部に回復傾向が確認された。洗掘については、一部、進行している箇所もあったが、これには利用者の影響よりも、雨水による影響が大きいと考えられる。 全体として、利用の影響が緩和され、複線化箇所や歩道周囲の植生が少しずつ回復しており、利用調整地区の指定によって、過剰利用からの回復過程にあると考えられた。

第1期計画期間における大台ヶ原の利用に係る社会情勢の変化

